

スポーツが教えてくれること。  
勝敗よりも大切なこと。

## “すべては選手の自立のために”

### 1、チームプレーから学ぶ、『人のために動くこと。』

現代の子供社会の中で希薄になりつつある『横のつながり』“自分さえ良ければ”ではチームプレーは成り立ちません。苦しむ仲間に手を差し伸べ、嬉しいときは共に笑う。仲間を思いやる気持ちこそがよきサッカー選手への大きな基盤になると考えます。

### 2、常に感謝の気持ちを持ち続けよう

スポーツ選手である前に人として感謝の気持ちを持つことはとっても重要なことです。ボールを蹴れることは当たり前ではありません。その場になぜ自分が立ち笑顔が作れるのかを常に見つめなおしてみましょう。なぜボールがあるの？なぜシューズがあるの？自然に心からの『ありがとう』が言える人作りを目指します。

### 3、積極的にコミュニケーションをとれるようになろう

ただボール扱いがうまいだけじゃいい選手とは言えません。スポーツの中でもチームプレーを行う上でグラウンド内でのコミュニケーションは大切なものです。日常に中でも、挨拶や返事はもちろんのこと、会話の中で自分の考えや自分の意思を相手に伝えることができるよう、働きかけて行きたいと思えます。

### 4、様々な経験をスポーツに生かそう

当クラブはスポーツそのものを『人として成長できる貴重なツール』として考えております。そのスポーツというツールを、より質の高いものにするために、スポーツ以外の活動も積極的にを行い、様々な経験することによって得られる感性や優しさ、温もりを財産としてスポーツにフィードバックすべく、サッカーに関連付けていけるよう働きかけ、人としての更なる成長を目指します。

### 5、学校との両立を目指そう

選手はスポーツを楽しむ前に本業は中学生です。この時期ほとんどの時間を学校で過ごす中で自分がやるべきことの優先順位をつけずすべてにおいて100%の力を発揮できる豊かな人間性の形成を目指します。

子供の頭の中は宝箱です。そこから出てくるものに対して大人が頭ごなしに大人の常識で否定してしまうと子供の自由な発想は消えてしまい、やがて宝を出すこともやめてしまいます。そこで大切なのは子供と向き合うことです。子供の自由をできるだけ尊重し、理解することそして子供のいうことを一緒になって楽しめる大人の寛大な心こそよきスポーツヒューマンの形成への第1歩だと考えます。

このようなスタンスが根底にあり、やがて大人に成長していく上で必要なこと、人として大切なことを子供たちに伝えていくことが我々大人の大切な役割です。